

公立大学法人 長野大学 理事会 議事録 (案)

- 日 時：令和7年8月27日(水) 9:30～11:00
- 場 所：長野大学4号館3階会議室
- 出席者：平井利博(議長)、小林淳一、織 英子、前田裕子、若林信一、平林靖久、吉田善一、鮫島正浩、市村和久、金子和寛(監事)
- 欠席者：柳原 渉(監事)

議事概要

1 議事録

前回(7月23日理事会)議事録の確認・確定

事前に配信した議事録案の内容について、確定することを決定した。

2 審議事項

議案第1号 共創情報科学部及び地域経営学部に係る関係規程の読み替えについて

小山総務・人事・施設担当主幹から、共創情報科学部及び地域経営学部が令和8年4月に設置されるまでの間、共創情報科学部設置準備室連絡会議及び地域経営学部協議会を教授会に代わる組織として位置づけることを各規定において読み替える必要があるとの説明があった。同様に次年度までは学部長予定者となっている者を学部長と読み替える必要もあり、必要な規定の読み替えについて原案どおり了承された。

議案第2号 専任教員の公募について

菊池総務・人事・施設担当課長から、社会福祉学部の社会福祉原論分野及び共創情報科学部のデザイン工学分野の教員を公募することについて提案があり、原案どおり了承された。

3 報告事項

(1) オープンキャンパス実施報告について【広報入試担当】

吉田教学担当副学長及び須永広報入試担当課長から、オープンキャンパスの実施結果について報告された。

報告に対し、地元学生の比率と県内のどの地域からの参加が多いかとの質問があり、昨年度は県内外の比率は5:5であったが、今年はこれが6:4と県内が増えたこと、その要因としては新学部志願の参加者は7割が県内学生であったこと、県内では東北信地域の高校からの参加が多いことが回答された。

また、地元のこれまで進学を躊躇してきた特に女子高校生をターゲットとするために、情報発信を充実してほしいとの要望もあった。

(2) 令和7年度予算執行状況報告【経営企画財務】

廣瀬経営・企画・財務担当課長から、令和7年度予算執行状況(第1四半期)の説明があり、予算執行状況は概ね順調であることが報告された。

(3) 令和7年度第1回上田市公立大学法人評価委員会の開催について【経営・企画・財務】

廣瀬経営・企画・財務担当課長から、上田市公立大学評価委員会が開催され、委員5名中3名が新任のため大学の概要説明を中心に会議が行われたことが報告された。今後は学部学科改編に伴う中期目標・中期計画の変更に関する意見交換や大学が行う自己点検評価結果に対して意見を求めることが予定されている。

(4) うえだ人材共創スクエアの活動について【地域づくり総合センター】

庄村地域づくり総合センター長から、上田人材共創スクエアの今後の活動として9月19日にシンポジウムを予定している事、これまでの活動として交流フォーラムを2回開催したことが報告された。

報告に対し、大学から企業への一方的な押し付けではなく、双方が教え、教えられる関係が重要との意見があった。また、企業からの参加者は一人であっても、その一人から社員全体に広がるような仕組みや参加企業とのつながりを強化し後々寄附等にもつながるような、単なる講演会にとどまらない複合的に大学をよくしていくという視点での運営をすべきとの指摘があった。

(5) 研究不正防止に向けた取組（研究倫理教育）【市村理事】

市村常任理事から、研究不正防止に向けた取り組みとして大阪経済大学の不正事例（盗用）が報告された。

(6) 大学院共創情報科学研究科認可申請二次審査結果について【法人運営改革室】

三井事務局次長兼法人運営改革室長及び上畑学長企画室長から大学院共創情報科学研究科認可申請の審査結果として、現時点では認可に至っていないこと、今後、認可されても入試実施時期に遅れが出る可能性があること、引き続き、申請プロセスを通じてカリキュラム設計の再検討や教育・研修プログラムの精緻化に努めることは組織にとって重要であると報告された。

これに対し、一部の理事から文科省との対話を含め、組織運営能力の向上を求める意見や将来的な再申請を含め、抜本的な協議を次回以降にしてはどうかとの意見があった。

○ 監事からのコメント

上記以外に特になし。

以上

次回開催日 令和7年9月24日（水）

議長 平井 利博